

学力向上

項目	生徒	保護者	教職員
授業に意欲的に取り組む	3.1	3.1	2.8
授業がわかりやすい	3.3	3.0	2.8
生き方や職業について真剣に考えている。	3.1	2.8	2.5
家庭学習をしている	2.9	2.9	2.4
人権教育の推進	3.3	3.0	2.5
特色ある教育活動	3.2	3.0	2.3

健全育成

項目	生徒	保護者	教職員
友だち関係が良い	3.3	3.3	2.8
さわやかなあいさつ	3.3	3.1	2.4
ルールを守っている	3.3	3.3	2.6
TPOに応じた言葉遣い	3.1	3.0	2.4
学校行事への取組	3.5	3.4	3.3
部活動への取組	3.4	3.3	2.8

学校環境

項目	生徒	保護者	教職員
掲示物が充実している	3.2	3.2	2.3
安全で環境は整備されている	3.2	3.2	2.5
清掃が行き届いている	3.0	3.0	2.3
迅速で適切な教育相談	3.1	3.0	2.7
通信やHPでの情報提供	3.2	3.0	2.4
給食がおいしい	3.3	3.5	3.1

○授業への取組やわかる授業についてはおおむね良好な評価。

○家庭学習の習慣化が最大の課題

○家庭学習の内容や時間、生活習慣の改善が課題。

□ICTの活用や目標を持った自学ノートの推進。

○全体的に落ち着き充実した学校生活を送れている。

○友人関係やあいさつ、規範意識はおおむね良好である。

○学校行事や部活動、生徒会活動は高い評価。

□自己有用感や自尊感情を育てながら、生徒主体の教育活動を展開する。

○おおむね良好な結果である。生徒保護者ともに全項目3.0である。

□環境整備と美化活動を推進する取組を行う。

□教職員の3.0未満の項目について指導を継続する。

【総括】3年間の経年統計を見てみると、生徒、保護者ともに評価が3.0以上が多くなっている。何よりも、生徒による評価数値が高くなってきたことは大変喜ばしいことで、今回の学校評価アンケートでは、「家庭学習の習慣が身につけている」が2.9以外は、すべて3.0以上となった。これは、生徒自身が自分たちの学校を肯定的に捉えている現れであり、学校生活が落ち着いていることを示している。保護者アンケートでは、「家庭学習の習慣が身につけている」と「将来の生き方や職業に真剣に考えている」以外は、すべて3.0以上となった。教職員の評価は、20項目中2項目以外は3.0未満であった。生徒や保護者から多くの肯定的評価をいただいているが、教職員としては満足することなく指導方法や指導技術の向上に努めていきたいと考える。特に「感謝の心」「清掃活動」「掲示教育」「特色ある教育活動」が課題である。

- 改善の視点
- 1 全体的に支持的な評価となっているが、現状に満足せず、更に向上する。
 - 2 課題は「家庭学習の習慣化」と「授業改善」である。家庭学習と授業のサイクルを確立する。
 - 3 学習習慣と生活習慣はリンクしているので、保護者との連携を強める。特に、長時間のメディア依存の脱却を図る。

- 実践事項
1. 授業改善の視点として「通常学級における授業のユニバーサルデザイン化」に取り組む。
 2. 教育相談体制の充実・・・全教職員が相談活動にあたる。
 3. 家庭学習の充実への連携づくり・・・時間と内容の検討